

2020年度市政モニター 第2回集計報告



町田市市政モニター
イメージキャラクター

もにっち

実施期間 2020年12月23日（水）～ 2021年1月22日（金）

テーマ 1. 町田市生涯学習センターについて
2. 町田市ホームページ・SNSでの情報発信について
3. ふるさと納税について

アンケート対象 2020年度町田市市政モニター

対象者数 196 人

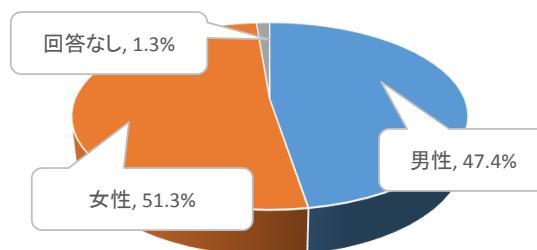
回答者数 154 人

回答率 78.6%

回答者の属性

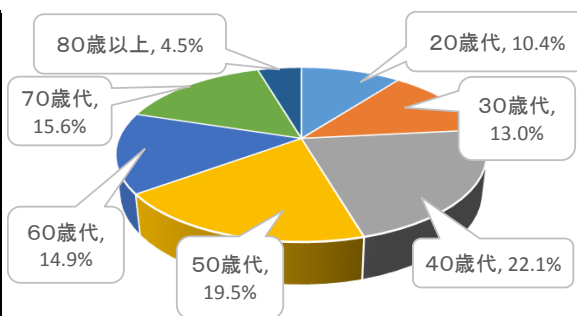
(1) 性別

	人数	割合
男性	73	47.4%
女性	79	51.3%
回答なし	2	1.3%
合計	154	-



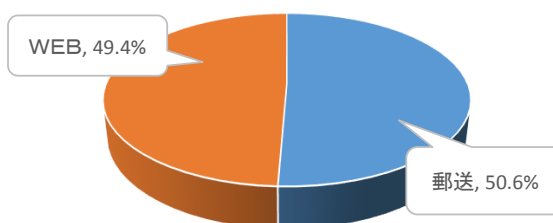
(2) 年代

	人数	割合
20歳代	16	10.4%
30歳代	20	13.0%
40歳代	34	22.1%
50歳代	30	19.5%
60歳代	23	14.9%
70歳代	24	15.6%
80歳以上	7	4.5%
合計	154	-



(3) 回答方法

	人数	割合
郵送	78	50.6%
WEB	76	49.4%
合計	154	-



※ 回答が択一または1つのみ選択の場合は「構成比」を、複数選択の場合は「回答比」を表示します。
 ※ 原則として自由記述部分は、ご本人の意を尊重し、文体・表現はそのままいたしました。
 ※ 割合の表示は、小数点以下2位を四捨五入している為、合計が100%にならない場合があります。

1. 町田市生涯学習センターについて

町田市教育委員会では、現在、「生涯学習センターのあり方及び効率的・効果的な管理運営手法」について検討を進めています。そこで、町田市生涯学習センターを利用していない方も含めて、町田市生涯学習センターの利用状況等の基礎資料とするため皆様のご意見をお聞かせください。

「市政モニターアンケート「町田市生涯学習センターについて」資料」をご覧ください、ご回答ください。

問1 あなたは町田市生涯学習センターを知っていますか。当てはまるものに○をつけてください。
(1つだけ選択してください)

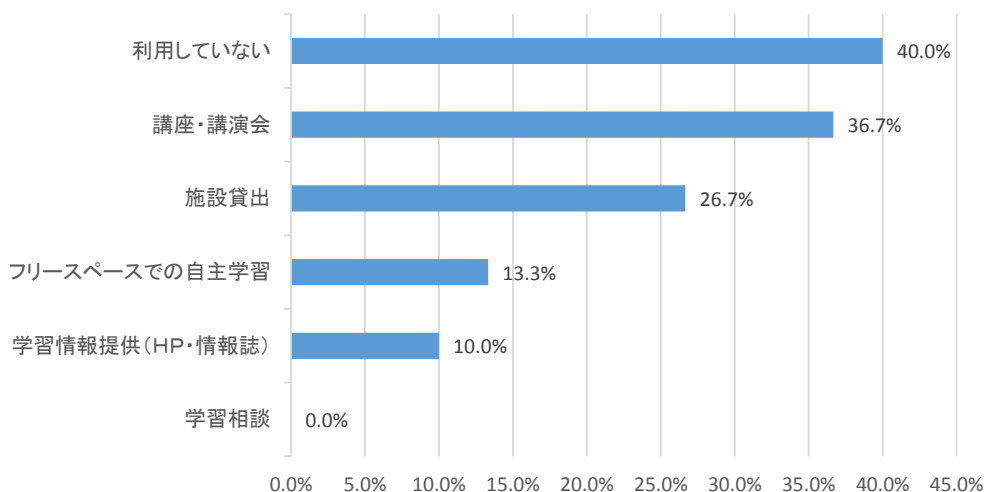


回答内容	回答数	構成比
知っており、利用したことがある	30	19.5%
知っているが、利用したことはない	58	37.7%
知らない	62	40.3%
無回答	4	2.6%



全体の40.3%の方が、「知らない」と回答しました。

問2 問1で「1. 知っており、利用したことがある」と答えた方にお聞きします。あなたはこの1年間、町田市生涯学習センターのサービスを利用しましたか。「市政モニターアンケート「町田市生涯学習センターについて」資料」の表面をご覧ください、当てはまるものに○をつけてください。
(複数選択可)



30名中12名が、「利用していない」と回答しました。

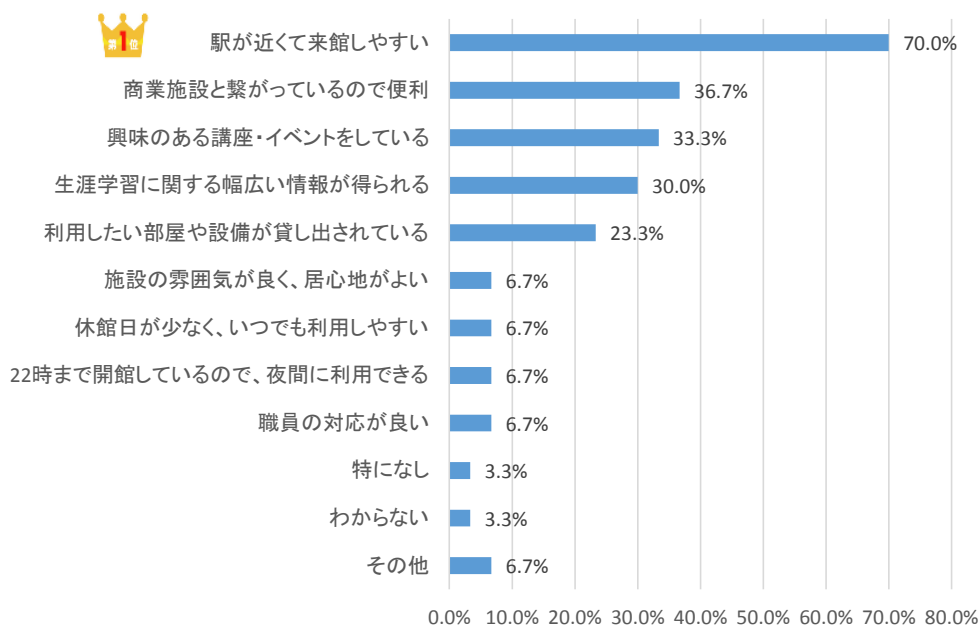
問3 問2にお答えいただいた方にお聞きします。町田市生涯学習センターを利用する頻度はどのくらいですか。当てはまるものに○をつけてください。
(1つだけ選択してください)

回答内容	回答数	構成比
ほぼ毎日	0	0.0%
1週間に数回程度	0	0.0%
1週間に1回程度	1	3.3%
月に数回程度	3	10.0%
月に1回程度	3	10.0%
年に数回程度	8	26.7%
年に1回程度	5	16.7%
数年に1回程度以下	10	33.3%



回答者の33.3%の方が、「数年に1回程度以下」と回答しました。

問4 問3にお答えいただいた方にお聞きします。町田市生涯学習センターの良いところはどこですか。当てはまるものに○をつけてください。
(複数選択可)



30名中21名が、「駅が近くて来館しやすい」と回答しました。

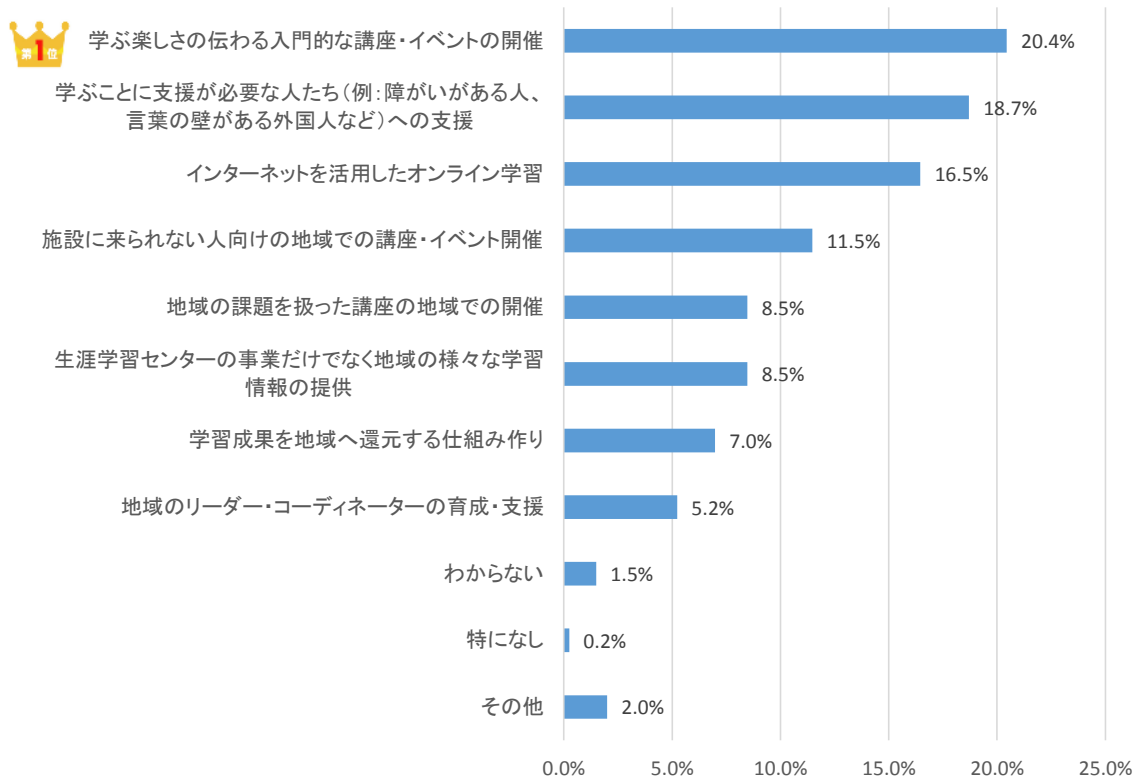
【その他のご意見】

気軽に市民だれでも利用できるのがよい

利用料が安い

フリースペース（昨年はコロナでなかなか使えなかった）で簡単な打ち合わせやなどが出来てよい。学生さんも気軽に利用している。市の施設にふさわしい。

問5 町田市生涯学習センターが今後、充実すべきと思うサービスは何ですか。当てはまるものに○をつけてください。（複数選択可）



154名中82名が、「学ぶ楽しさの伝わる入門的な講座・イベントの開催」と回答しました。

【その他のご意見】

109の上にあるのは知っているが、具体的に何をしているのか知らない。

何事も生涯勉強することは意義のあることだと思います。私も何か学習したいのですが今日まよっているというか何か分かりません。

退職後の高齢者の学ぶ意欲は、とても高いものと思います。体力、知力維持は、元気に過ごせる糧ともなると思います。シルバー人材センターで働ける為の技術、老人相手の”お話し相手” ETC…

就職支援、資格取得の為、学習支援

元気な高齢者は参加できると思うが、堅苦しいことを言っていては無理。スマホも無理と言っている人けっこういますから。

町田市生涯学習センターが有る事をまずは宣伝した方が良いと思う。

孤立している人の社交場になるような事


一般人もさまざまな問題を抱える世の中、弁護士に相談できれば解決する問題もたくさんあると思う。そういった問題を緩和するため、弁護士に無料相談できる場、または、一般人が抱える問題への対処法を本物の非営利弁護士が列挙した辞典的なものを公開する。(ネットでも調べられるが、いかがわしいサイトが多すぎて信用ならない。庶民は弁護士費用もそう簡単に出せない。資料に自治体公認という信頼と責任を持たせる)

具体的に、こんな人だったら、こんな行政サービスが受けられる、のような例をいくつか挙げて、見本例などを情報提供したらどうかと思います。

町田がこれまでどのように歩んできたのか、そして今どのような問題を抱えているのか、さらに懸念される将来の課題は何かを学び考える場の提供。町田市は、急激な人口増加により多くの市民が市外からの転入者で占められています。新たな知識や情報の提供の前に、いろいろな世代の人々に、自分たちが住んでいる町田をよく知ってもらい、そして関心及び愛着を醸成してもらえるような活動があってもよいと考えます。

安い利用料で活動場所の提供を続けること。

問6 他市の生涯学習センターや公民館の中には、民間事業者が事業の実施や施設の管理運営を行っている施設があります。事業や施設の運営を民間事業者が行うことを、どう思われますか。「市政モニターアンケート「町田市生涯学習センターについて」資料」裏面をご覧ください、当てはまるものに○をつけてください。
(1つだけ選択してください)

	回答内容	回答数	構成比
	サービスの向上と運営の効率化につながるのならば、民間に任せた方がいい	64	41.6%
	サービスが低下しないなら市でも民間でもいい	57	37.0%
	市が直接、管理運営した方がいい	17	11.0%
	わからない	7	4.5%
	その他	8	5.2%
	無回答	1	0.6%

… 全体の41.6%の方が「サービスの向上と運営の効率化につながるのならば、民間に任せた方がいい」と回答しました。

【その他のご意見】

どちらとも言えません。要はやる気のある人、勢いのある人がやるべきです。市民間もないのです。「人」なのです。

公的施設で行われた民間事業は、市の把握、方向性の管理責任があると思います。完全に民間任せより、行う内容の報告を義務に入れ、度々のチェックしたらいいでしょうか？

相模原市に住んでいた頃、公民館の職員と一緒に学習した ①地域の問題 ②教育の問題 若い母親の手伝いに子どもを預かったりボランティアの保母さんも10年やっていた。

「サービスの向上＝サービスの低下はなし」であるならば市でも民間でも良いと考えます。後は、利用しやすい利用料であることが前提と考えます。
民間に任せて上手に宣伝、運営してもらった方が良い。
利益を出さないと運営できない民間企業に管理させることで、いわゆる公務員を減らして税金消費を減らすと同時に、時代に沿った新たなサービスを期待。逆に、歴史的な文化財など、行政が管理するべきものは民間に任せず、しっかり自治体が管理するべき。
サービスの向上と運営費用が削減出来るのであれば、民間でも良いと思う。
民間が入ることで、営利目的や集客できる学習に偏るのは問題だが、広い世代に向けて幅広く学習する機会を色々な媒体で案内でき、講座の種類が増えたり、新しい目線で見られるなら、民間が入ることはメリットがあると思う。
民間への委託は、新たな知見の導入や効率的な運営の一手段として検討するのは必要だと思えます。ただし、全体の運営方針や個々の活動内容は、当然ですが市が責任をもって市民の目線で市民の意見を汲み取って管理する体制を築いてもらいたい。そのうえで、個々の実際の活動についていろいろなknow-howを持っている民間の助けを借りるのはよいと思えます。

問7 町田市生涯学習センターについて、ご意見やご提案があればお書きください。
(自由記述)

1.限られた人達しか使用していないように見える。2.もう少しPRが必要ではないか。3.興味ある講座やイベントが少ない。
調理室ですが快適に使用させて頂いています。欲を言えばもう少し時間に余裕が欲しいです。受付の方、後利用の都合もあると思いますが もう少し、やさしい対応を望みます。
企画担当の方の思い入れの込もったユニークな演目が好感されます。(例えば外道のコンサート等)
これからは社会からリタイアした高齢者がどんどん増えます。まだまだ能力があるのに、それを使わないのはもったいないです。大いに利用すべきです。お年寄りも今までの経験に甘んずることなく死ぬまで学び続けることが大切だと考えます。
もっと広く、案内をだしてほしい。具体的な活動の様子を記事にして！
老人ホームをお手伝いしている生徒さん達は本当に喜んでもらっているといえます。それは心の友達、生涯学習にピッタリ合っています。
町田駅近くに行くのは大変なので他の地区に作ってほしい。
誰でも参加しやすい気軽なイベントが(交流会)たくさんあるといい。横のつながり、以前参加した講座で・・・広がりがあった。敷居が高く感じられる(イメージですが)
おもしろそうだなと思う事業は60歳以上を対象としていることが多いです。50代でも子どもが独立し参加できる方もいると思うので対象を下げてよいのでは。学んでみたいと思うこともありますが、子どもが学生のうちはなかなか難しいです。自分の稼ぎを自分の為につかえるようになったら利用してみたいです。その時の為にも民間企業、大学ともどんどん協力して内容を充実していただきたいです。

これから未来のある若者に興味のある事を行って行って欲しい。
ことぶき大学事業があると今回始めて知りました。問5と同様な回答になりますが、告知を考えて頂きたい。団地内で聞いても(充分注意してマスク等)知らない人が大半でした。内容については参加したいなという意見多し、私も同感です。
前回の「公共施設の複合化」の取り組みは、半数の方が「知らない」と答えています。生涯学習センターもあまり知られていないと感じます。もっと、多数の人が答えられるようなアンケートの方が良いのでは?と思います。
近くに大学が私の地域ですが、2校有ります。大学の先生に講演等を年1回位の割合で開催して頂きたいと思っております。
町田市で働く人材育成の為、学習支援と職業斡旋
昭和音大の音楽教室で「日本昔話」教室を行っています。小さな子供達にほっこりする昔話の世界を紹介したい。「思いやり」「自然と生活」大事なことが沢山かくれている昔話。広められればと思います。
子どものアニメ映画鑑賞会が上映されると嬉しい。大人向けの昔の映画を上映して欲しい。
問5でも書きましたが、交通機関を使用してまで現地の学習センターまで行けるかの問題になります。高齢者は話す場所が欲しいだけです。それによって何かを初めたいとか出かけてみたいとかにつながる気がします。サロンのものから高齢者の様子を把握して認知症、運動不足(ロコモティブシンドローム)などの予防が出来たら良いと思います。SNSを使用する人が増えたと言っていますが、私のまわりには一人もいません。それができる人は元気なポジティブな高齢者です。
生涯学習センターに行きたい気持ちもあるが高齢の為難しい
利用したことがないので、何とも言えませんが、現状どれくらいの方、年齢層がどんな利用のし方をしているかについて集計し、検討、改善されているのでしょうか。その部分が不明なのでアンケートの回答が通り一ぺんになってしまいました。
様々なテーマの講座や講演会とありますが、いつ、どこで開催されるかというのは何によって知ることができますか。我が家では新聞をやめたので、まちだ広報が配布されず、情報を何で得ることができるのかわかりません。
金井6丁目の自治会の役員をしていたとき、職員と一緒に環境を考えたり、ゴミ処理場見学の折、皆さんと一緒に考えたり楽しかった。相模原市の自治会役員をしていたとき、宇宙科学センターを見学したり、施設めぐりのバスを借りて市内の施設を見学して特に男性の役員さんらに喜ばれました。アメリカ大陸を横断した折はナサ宇宙科学センターを見学したりよかった。アメリカは広いことにびっくり、人間はこの国の人もいい人たちでした。若いときは冒険することも大事。チャンスがあれば又行きたい。町田市に40年も住んでいるのに海外ばかり行き、やっと地域に目を向けることもできました。パソコン教室で10年、カレンダーや地域のことにも関心あり
玉川学園大学、桜美林大学との差別化を図って、町田市指定の講座や終了時に町田市への就職等の貢献度を担ったりしたほうがよい。
特にない
個人的なことなのですが、現在主人の介護が生活の中心になってしまい自分のことはできずにおりますので解答ができませんでした。申し訳ございません。

町田市民としては大いに期待しています。
各地域で発生している難題、事案を集約し市民全体の案件として相談出来る座談会的講座の開催を作り、又高齢者から若年者が合同で行えるコミュニティー(町田ならではの)を作る計画、このような点を広く集める役の方を育成支援の場
「町田市生涯学習センター」という名称は、聞いたことがあるが利用したことはありません。朝から晩まで仕事をしていると利用する機会もなければ詳細も知りませんでした。今回初めて市政モニターを希望したことはヨカッタと思います。新型コロナウイルス感染症の流行により「zoom」で会議等を行っているように「zoom」等を利用して内容を発表し、発信してみても良いかと思えます。
講座を受けたいと思っていたが、施設が交通に不便なため あきらめた事がある。交通の便なども記入してくれると助かります。
生涯学習センターを知っている人が少なすぎる。もっと市民の方が知る方法を考えた方が良くと思う。
生涯学習センターについては学習すること及び何か制作、もの作りなどの分野も必要ではないかと思えます。問5の「8、成果を地域に還元する仕組み作り」など町田市の運営で学び、作った物などの販売など高齢者、定年退職後の技術者の生きがいにつながると思います。現在インターネット社会ではありますが、スマホ、PCが使えない方も多く、独居の方も多いので気軽に集まれる広場的な場所もあると良いですね。(学習の場として)
町田駅から好立地とあるが常盤町在住の子育て世代には町田駅まで行くのは大変で利用しようと思わない。(2歳・5歳子育て中)バス、電車ではなく車で行ける所だといいなと思う。規模は小さくていいから分室のようなものが複数あると利用しやすい。HPを見たが「2018年度開催」と記載している情報写真が多く、情報が古いと感じた。情報の更新をもっと頻繁にした方がいいと思う。オンラインを活用して家でイベントや学習に参加できるようになったら嬉しい!!ので、子ども向けイベントをオンラインでして欲しい。歌や本の読み聞かせ、手遊び等。
成功している地域で運営方法を学び町田市全域で平等に使用できる様になると認知度が上がると思います。
何故財政が厳しいのか。わかりやすくお金の流れを説明してほしい。
今までどのような講座を開講しているか知りませんでした。今後は興味のある講座があれば、スケジュール次第で参加したいと思います。
何をしているのかわからないというのが率直な感想です。HPのイベント情報を見ても、一目見てパッと分かるような記載でもないのでもう少し分かりやすい方がいいと感じました。
生涯学習において一番重要なことは、本人のやる気(本人が好きなことや趣味)を活かすこと。上から無理やりやらせる押しつけ学習は絶対やってはだめ。
いままで利用したことがないのですが、ネーミングから言って生涯学習センターといえますので、高齢化社会に向かい80才、90才になっても学べる場所があるのはよいと思う。今後、利用したいです。
無くてもいい

誰のために何をやっていて、どこにあるのかが広く知れていないように感じます。広告にも費用がかかるので、バランスが難しいですが、利用の拡大を目指すのであれば、より積極的に露出を増やすのが必要に思います。

名称だけで何が出来る施設か想像がつかない。考えた上でパッと感じるのは、高齢者向けのカルチャーセンターに聞こえる。思いきって全く違う名前にし、その施設の説明をしっかりと、市民に浸透させた方が、全世代が利用する気になると思う。(命名は、ばあん・まあち みたいな、「あ、自治体の特殊な施設なのですね。働いて忙しい私には関係ないかな」という雰囲気を持たせない)

施設使用料金の低料金維持。利用者の偏り、公平に。

語学などプラスアルファで学習できるイベントなどがあればいいと思います。今は小学生から英語を学習する時代です。それに加え、学校では勉強できない多言語を幼い頃から学習できることによってもっと視野を広げられるのではないかと思います。

特にありません。

どういう活動をしているのか、どういう施設なのか、何となくは知っていても詳しくは知らない人が多いと思うので、まずは周知させて利用促進をはかることが優先ではないかと思います。

あらゆる世代に使いやすいものがあるとよいです。

いつも通ると気になってはありましたが、実際にどんなことが行なわれているのか、どんな方々が利用されているのかわからず、実際に利用したことがありませんでした。その辺りの情報を広い形で開示されてると、実際に利用してみようと思われる方も多いのではないのでしょうか。

お年寄りばかりが利用していると感じる。小学生などの習い事や親子体験教室のように全世帯に普及しなければ、高齢者施設化してしまい、のちに現在の利用者が亡くなった後は廃れて閉鎖されるだろう。

老若男女、それぞれの興味に合わせて選べる講座が複数あるといいと思う。

少し調べてみましたが、市としての体制としてはよくやっているのではないかと思います。ただ民間はもっともっと自由闊達かもしれません。ここは検証してみないとわからないのであくまでも評論家的な傍観的な言い回しですみません。

いろいろなジャンルの学習ができるようにしてほしい。

視聴覚用に大型テレビを設置したら如何でしょうか？なお、6年前から要望として文書でお願いしていたが未だ導入されていない。理由：1. 現在、スクリーンはあるが、プロジェクターは古く写りが悪い。2. 今やテレビは大型化し写りも良く、価格も下がっている。

何をやっているところか、小学校や幼稚園等に年1回でもプリントを配ってくれたら少し目を通すかも。紙は無駄かもしれないが、紙なら必ず見る。

「町田市生涯学習センター」という名称が古めかしく、堅いイメージがあるので小・中・高生からアイデアを募り、新名称にした方が良い。

参加したことがないので意見や提案を述べることは難しいが、今回のアンケートで市民大学HATSの活動には興味を持った。地域活動に貢献することは、誰にでもやりがいを感じると思える。

自宅が学習センターの近くでないので、実際に通えない人にも郵送などで学習の機会を作るシステムがあっても良いのではないかと思います。

最初のきっかけがつかめないので何かを始める事が出来ないのが現状です。いずれは自分の趣味に合った何かを始めるつもりです。

生涯学習センターの認知度は非常に低いように感じます。いろいろな世代対象に多くの講座やイベントを展開されているようですが、小生の不勉強もあると思いますが、アピール不足を感じます。また、他の自治体でも同様な名称としているようですが、「生涯学習センター」と聞くと、勝手な思い込みかもしれませんが、「一線を退いたり、時間が空いる人たちが趣味的なことを学ぶ場」というイメージを持ってしまいます。もちろん、学習を通じて余暇を充実させることも必要ですが、もっと積極的に市民生活を豊かにする場として、そのようなイメージの名称としてアピールしたほうが良いように感じます。

高齢者のたまり場と化していることを是正しないと、今後の発展は望めないと考えます。もちろん、高齢者を対象とするサービスも残しつつ、既存のものを峻別した上で、より幅広い世代に訴求するサービスを検討しなくては良い取り組みも先細るだけかと思えます。

告知が足りないように思う

使いやすい市民活動の場所として現状を維持してほしいです。

主に使用するならば施設貸し出しだと思いますが、町田は横に長く、小山からは遠いのでなかなか利用はできません。

地域活性化を主眼として、リーダーの講演を期待したい。また、そこから人とのネットワークへ発展させて、より多くの活動へと結びつけるのがよろしいかと。

施設が全般的に暗い感じがする。壁などの色を変えて明るくしたほうが良いと思います。駅に近い市の施設なので老若男女使用してもらいたいです。

便利な場所にあるようだが、どんなことをやっているのか、どんな講座があるのかわからない。参加してみたいものを見つけても、満員だったり。生涯学習センターの企画だったか忘れてしまったが、広報に載った何かの講座に参加したが、お年寄りばかりでちょっと居づらい雰囲気だった。若い人も学べる環境が欲しい。

知らない人が多いと思うので、アピール方法があればよいと思います。

図書館でもらったチラシから、参加したいイベントが生涯学習センターで行われており、その存在を知ることができましたが、会社員として忙しくしていた時にはその存在すら知らずにいました。もっと（広く市民に？）知られてもいいと思います！

人生のすべては、自分自身の失敗・過去の人々の失敗から学び、改善していくことだと思う。多くの人が、学ぶ楽しさに触れることができるように、様々な角度から活動してほしい。学ぶことにどんなメリットがあるのか、学ぶという行為が、どのように人生で繰り返されるかなど。

職業訓練的な資格取得を目指す講座が必要（CAD、マンション管理士、電検、介護士、食品衛生管理者などなど）職が増えるような活動しませんか？

NHK講座のような内容の充実があれば、利用する人も増えると思います。またイベントカレンダーの講座名もどのようなことをするのか内容がすぐに分かりにくいので、表示の仕方をもっと少し改善する必要があるように感じました。（詳細を別のチラシで調べさせるのは不親切）

生涯学習センターについて、今回のアンケートで初めて知りました。今後、興味のある内容があったらぜひ利用したい。また、もっと早く知りたかった。

ワーキングプアなど収入格差が広がり、さらに働きたくても職に就くことが出来ない人が特に団塊ジュニア世代に増えていると聞きます。そのような人達が定職に就けるように生涯学習センターが利用できると良いと思います。例えば、今後団塊世代が次々と現役を引退し、外出する機会が減ってしまうと、やがて老化が進み支援が必要になる人が増えてしまうことが懸念されます。そこで、就業機会を欲する人に、現役を引退された方々から技術指導をってもらうような地域支援事業に参加してもらうような機会創出ができるの良いのでは、と思います。

ワークショップ「ホンネで話そう！“生涯学習センター”と“未来のこと”」

生涯学習センターの認知度・利用率が低い若年層のニーズを探るため、ワークショップを開催し、地域で活動する3つの学生団体からご意見をお伺いしました。

①町田創造プロジェクト（通称：MSP）

町田創造プロジェクトとは？

市とともに町田の5年後、10年後、20年後の未来を考える若者グループです。若者の市政参画を推進し、まちづくりへの主体的参加及び意見表明を目的として設立しました。

市内在住、在勤、在学の15～18歳の方々に構成されています。

※WS参加者…男性（19歳1名）、女性（17歳1名、18歳1名、19歳2名）

ワークショップの概要

1. 利用者アンケート実施※

※2020年10月に実施した利用者アンケート

2. 施設見学

職員の案内による館内見学

3. 意見交換

高校生（卒業生）目線の生涯学習センターのニーズを探る



生涯学習センター
イメージキャラクター
「マニヤミン」と「マナブウ」

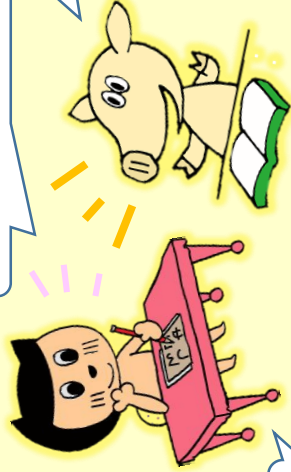
MSPの皆さんに聞いた生涯学習センターの印象

講座をやっているのは知っていたけど、詳しくは知らなかった。

私たち世代が受けられる講座ってあるの？
自分たちが対象になっているという感覚がない。

若者向けの事業がないというイメージ

駅から近いのはいいいね



22時まで開いているのも便利。
あんまりそういうところがないので

MSPとして生涯学習センター主催事業「ガクマチEXPLO」に参加していることから、施設の利用経験は全員あり、かつ施設貸出や自主学習スペースの利用経験がある方もいました。しかし、事業や取組についてはあまり知られていないことが分かりました。

町田創造プロジェクト (MSP)のご意見 1/2



生涯学習センター職員

Q. 今後重視すべき事業として「イベント」の実施を挙げている方が多いのですが、若い人たちから見て、具体的にどんなイベントがあればいいなと思いますか？

オンライン・パソコン講座

「使い方も分からないのに、高校や大学で急にwordでレポート書けとか、PowerPointで何か作れとか言われてしまう。」

「オンラインのやり方もソフトの使い方も教えてくれるような、新大学生向けパソコン講座とかあるとうれしい。」



学校で教えてくれる機会はないのですか？

「紙渡されて、読んでくれと言われるだけ。『オンライン授業になるから配布した説明書のとおり設定してくれ』と言われても、上手くできるとできない子がいる。」

「スマホばかりで、パソコンを触ったことのない子も結構いる。Wordって何？というレベルの子も。パソコンを基礎知識から教えてほしい。」



パソコンの基礎的使い方というと高齢者向けの講座というイメージがあったのですが、認識を改めないといけません。

「スマホなら教えることができるけど、パソコンは別物。」

若者向けの性教育相談室

「学校の授業では、恥ずかしくてちゃんと見られなかった。今になって見ておけばよかったと思っている。気軽に若者が性について相談できる場が保護者以外にあるといいなと思います。今は友達に相談するしかないもので、どうしても偏ってしまふ。学校以外の場で知識を得られる場と相談できる場があるといいなと思う。」



みんなで学ぶ場(講座)と個別相談の場、どちらがいいですか？

「個別に相談できる場があるといいと思う。」

「児童相談所じゃない別な所で相談したい。」



例えば、相談先を紹介してもらうのはどう感じますか？また、情報の発信元が民間か公設かによって、信頼度や受け止め方は違いますか？

「よくわからないところには相談したくない。知っているところなら行くと思う。」

「公共の施設だとしっかりしているイメージはある。本当にしっかりしているかはわからないけど。」

「学校で相談先が書かれているカードが配られたりするけど、いまいちピンとこない。身近な相談先になるのであれば、ここに来たい。」

「相談先として、電話番号が書かれている事が多い。若い世代は電話が苦手な人も多いため、直接、窓口に行きたいと思います。」

「私は文字に残るのが嫌なので、LINEやメールの相談には抵抗があります。直接窓口で相談したい。」



一概にオンライン相談が便利ということでもないですね。ちよつと話が変わりますが、講座の申込でも電話だと抵抗があるものですか？

「結構、ハードル高い。」「躊躇するよね。」

「家に固定電話がない家も増えている。家族がみんな携帯持っているので、必要ないです。」

「電話に限定するのではなく、ネットとか窓口とか何パターンがあったほうがいいです。」



若い人向けの講座・イベントを実施する際には、募集手段から変えないといけません。

町田創造プロジェクト (MSP)のご意見 2/2



生涯学習センター職員

Q. 今後重視すべき事業として「イベント」の実施を挙げている方が多いのですが、若い人たちから見て、具体的にどんなイベントがあればいいなと思いますか？

新生活応援・料理講座

「4月から新たに一人暮らしする人向けの料理講座があれば、学生は利用すると思う。今、料理できない子が多いので。」

「気軽に教わりたいので、講師は大学生とかボランティアの方が良い。」

「ちゃんとした料理を教わりたいのではなく、忙しい時パパッとできるものを。」

「いい感じの手抜きご飯がいいな。」

メイク講座・相談会

「校則ではメイク禁止だったのに、社会に出たら化粧しないのはマナー違反になる風潮はきつい。」

「校則違反して高校生から化粧を楽しんでいた子の方が、大人になると評価されるといのは不条理。なんで学校で禁止していたのか分からない。」

「専門学校は就活まで時間がないから、メイクで苦しんでいる子はとくに多いです。」

「講座でもいいけど、先輩に気軽に聞ける場が欲しい。」

中高生の関心を惹くなら、どういったイベントを企画したらいい？

MSPも今、仲間を増やしたいという思いがあってイベントを企画しています。どんなイベントが中高生の関心を惹くのかについて、以前メンバーで話したことがあります。



児童青少年課
MSP担当職員

「生涯学習センターで活動されているガクマチなどの大学生に、進路相談や大学生生活の様子を聞けるようなイベントをしたいと考えています。」

「今、話のあった料理とかもそこから出た話です。改まった形ではなくざっくばらんに聞ける場を設けた方がいいです。」

なるほど。今の若い人って、縦のつながりってあまりないのでしょうか？



「ない。サークルに入らない子もいる。」

「今年は入学しても、コロナでほとんど学校に行っていないので、先輩は2人しか知らない。」

「MSPの活動をとおしてガクマチの大学生の方々と知り合えたので、せっかくだったらその繋がりを深めたいよねという話をしています。」

「私達だけでなく、中高生は大学生の話に興味があると思います。大学のどの学部に行こうとか。身近な先輩だけでなく、色んな人から話が聞けたら魅力的。」

「子どもセンターは19歳で切られちゃうので、そういうことを集まって話せるところがない。」

「学校で教えてくれないけど、社会人に必要なことは多いので、そういうことを聞ける場がほしい。一人暮らしやパソコンの使い方、化粧はその一例。」

「税金の納め方とか。いきなり納めてね』ってなる」

「正直、大人に期待が持てない。日本が保守的で遅れている面だと思う。」

「人として生きていくために必要なことは学校で教えてもらえず、放り出されている。学校で真面目にやってた子ほど、ギャップに苦しんでいる。」



例えば新成人講座ということで税金や料理、一人暮らし、メイクの話がバッグになっていたら需要はありますか？

「講座があれば嬉しいけど、気軽に先輩に聞ける場もほしい。」

②さがまち学生Club

さがまち学生Clubとは？

さがまち学生Clubは「学生の子カラでまちを盛り上げる」をコンセプトに、相模原・町田地域の学生が地域の活性化及びまちづくりに関わる活動を企画・実施していく学生主導型体験プロジェクトです。

さがまちコンソーシアム加盟大学の学生、相模原・町田エリアに在住の大学生で構成されています。

※WS参加者…5名（大学1年生1名、3年生2名、4年生2名）
うち町田市在住2名

ワークショップの概要

1. アイスブレイク&自己紹介

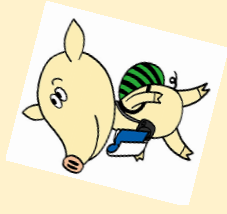
「生涯学習センターってどんなところだと思いますか？
漢字一文字で書いてみてください」

2. 質問①

「大学生から見た生涯学習センターの良い・悪いところって？」

3. 質問②

「あなたが生涯学習センターでやりたいことは何ですか？」



さがまち学生Clubの皆さんに聞いた生涯学習センターの印象

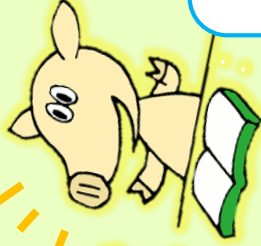
～漢字一文字で～

「親」です。
私は、「生涯」という言葉から「寄り添う」という言葉を思い浮かべました。
「親しい関係で学んでいく」イメージで「親」という漢字を書きました。

私は大学1年生なので、コロナウィルスの影響もあり一度も行ったことがありません。

さがまち学生clubの活動で3年間、和室を利用させていただきました。

「混」です。
混沌としているイメージで、色々なことが行われている、色々な団体が、色々な用途で使っていることから「混」という漢字を書きました。



私は生まれも育ちも町田市ですが、利用経験は1回程度です。高校の時、友人が自習やテスト勉強の時に使っているというのは聞いていて、「あるんだ」ということは知っていました。

「楽」という漢字を書きました。
生涯学習センターはさがまち学生clubの活動で利用させていただくとともに、「学生活動報告会ガクマチEXPO」も参加させていただいています。楽しいイベントが多く、たくさんの方が盛り上がりつつ楽しんでるイメージがあります。

さがまち学生Club のご意見 1/2



生涯学習センター職員

良いところ

「1つの場所で色んなことができることです。思っていた以上に、色んなことを行っていて、色んな場所もあり、活用方法も色々と考えられると思うのもっと認知度があっても良いのでは？と思います。」

「色々な方々に学習機会の提供をしている点が良いと思います。」

「市民大学です。私の大学でも外部や非常勤の先生の朗読講座などを市民の方が受けていると聞いたことがあり、『面白そうだな』と思っています。様々な環境の方が学べるのはいいなと思います。」

「自由に使えるテーブルとイスがあるところ。高校生等も勉強で使っているので、ファーストフード店などで勉強するより勉強がはかどりそう。」

「駅近で行きやすいところ」

Q. 大学生から見た、生涯学習センターの良いところ、悪いところって何ですか？

悪いところ

「認知度が低いところ。私の地元では、地域のお祭りの練習場として使用している公共施設があり、多くの方に知られていて活用されています。市民がイベントやお祭りに参加する際の練習場などとして、もっと活用してもらおうと良いのでは。」

「高齢者向けのイベント等多く、若い人たちが参加できるイベントが少ない印象を受けました。」

「もっと色んな方と出会う、つながれる機会があれば良いのと思います。先日の『学生活動報告会がクマチEXPO』では、他大学の学生と興味をもっているボランティアのことでつながることができました。イベントやお祭りなどでも良いので、つながれるきっかけがもっとあると嬉しい。」

「21時になると『早く終われ、片付けろ』と必ず来るおじさん（管理員）が怖いと思った。」

「公共施設感があって、『シーン』と静まり返っているところ。若い人にはハードルが高いと思うので、もう少しわいわいしていたら気軽に入れるかも。」



Q. 生涯学習センターは利用者の70%が60歳以上です。何をやったら若い人が来てくれますか？

「部屋の予約を初めてでも電話やインターネットで出来ると良い。町田市周辺には美術大学も多く、活動する場所を必要としているクリエイターやミュージシャンも多いと思います。若者にも制作スペースやレコーディングスタジオの一環として使用できることをPRすると良いのでは。」

「リモートワークやオンライン授業では、自宅のWi-Fi環境が悪かったり、気分転換に場所を変えた人もいえると思うので、電源とWi-Fiがあれば若者も使いやすい。Wi-Fi、電源、カフェ、長居できることが条件だと思います。」

「HPは生涯学習センターの中が見えづらい上に、固いイメージで怖そうと感じた。ポップに見える化することが必要。」

「YouTubeやインスタグラムで発信されている、ついついマネしたくなります。例えば、町田市で活躍している商店街の方やお店の方などが生涯学習センターを使ってみたい感想を発信したり、自習スペースを使って勉強をしている学生に突撃インタビューすると良いのでは。」

「私は町一中出身ですが、近隣の中学の子を含め友達は生涯学習センターを知りませんでした。学校の前にあるさるびあ図書館でみんな勉強していました。中学生、高校生に知ってもらえれば、大学生になっても勉強などで使ってもらええると思います。」

さがまち学生Club のご意見 2/2



Q. 中学生、高校生、大学生には、どうやって情報発信すると効果的ですか？

生涯学習センター職員

「見るか見ないかわからない何かの媒体で宣伝するより、**学校でプリントを配布したほうが効果がある**と思います。」

「小さい子どもから小中学生と思うと、YouTubeが効果的だと思います。**子どもたちは、動画の方が記憶に残ると思います。**」

「生涯学習センターのTwitterは、フォローしている人やフォローワーが町田の学生団体や大学、施設やメディアであったりと双方向的なつながりが強いと思うので、**生涯学習センターの中がどういった様子なのかも発信していくと、フォローしている方を通して地域の方に届いていく**と思う。私も、さがまち学生clubを知ったきっかけは大学からのメールだったので、特定の地域の小・中学生、高校生であれば、**SNSより学校を通じたアクションのほうが比較的すぐに届くのでは**と思います。」

学校を通じたアクションで知って、その後の2回目のコネクションとしてホームページやTwitterが効果的だと思います。そのホームページ、Twitter上の様子がわかるコンテンツがあるとわかりやすいと思います。」



あなたが生涯学習センターでやりたいことは何ですか？

「日常的には学習スペースとして活用したいです。**休日は、学生団体や地域の方との新たな交流の場として、イベントなどで活用したいです。**」

「私も**学習スペースとして使いたい**です。また、カフェテリア（公民館喫茶）があることを今日初めて知ったので、ぜひ利用してみたいです。おいしいご飯や名物があると、行ってみたいくなると思います。」

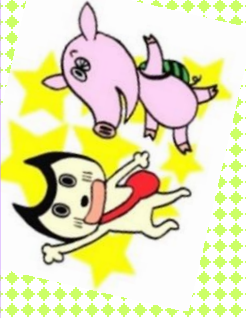
「『**苦手なことを得意に!**』。私は絵が苦手でも人にお見せできないレベルですが、アニメを見るのが好きです。町田にもコロナ禍で頑張っでかっこいい漫画を描いている方や面白い記事を書いているクリエイターがいると思うので、**絵や文章が苦手な子向けのコラボ企画**をすると良いのではないかと考えました。生涯学習センターに訪れて貰えるし、クリエイターの方たちの支援にもつながると思います。」



意見に出たような若者が集まれるイベントを、さがまち学生clubが企画して実施するという事も、今後あり得そうですね。」

「『学びの場』『勉強できる場』にプラスして、コロナ禍であるからこそ、**生涯学習センターは『出会いが生まれる場』**であって欲しいと思います。休日に若い人も参加できるイベントとして、例えばお笑い芸人のライブや、町田セルビアを応援するイベントなどを実施すると良いのでは。**その場に集い、町田市の方々が一つにつながると良い**と思います。」

「私はカードゲームやTRPGなどのアナログゲームが好きなのですが、ゲームを買っても友達が付いてこないのが、人が集まらないと遊ぶことができません。そのため、ゲームカフェのような、皆でゲームができるイベントがあれば行きたいと思います。**友達がいなくても、一緒にやらなくてもはでないものができる空間になると良い**と思います。」



さがまちコンソーシアム職員

③へりぽーと

へりぽーとは？

「ひとりの『だったらいいな』を地域のうれしいに変える」を理念のもと、町田市相原町を中心に活動している学生団体です。
「よしみち広場」（相原町）での地域の居場所づくりをはじめ、イベント企画・運営や協力など地域に根差した活動を行っています。

法政大学と神奈川大学の学生、卒業生で構成されています。

※WS参加者…大学4年生3名、新社会人3名（うち、町田市在勤1名）

ワークショップの概要

1. **アイスブレイク&自己紹介**
「生涯学習センターってどんなところだと思いますか？」
2. **質問①**
「どんな事業だったら参加したいと思いますか？
また、関わりたいと思いますか？」
3. **意見交換**
大学生・若者目線の生涯学習センターのニーズを探る

へりぽーとの皆さんに聞いた生涯学習センターの印象

駅から近く、使いやすい場所にある印象です。
次回のへりぽーとの活動は、市民文学館ことばらんどを利用しますが、やはり生涯学習センターの近さには敵わないと思います。

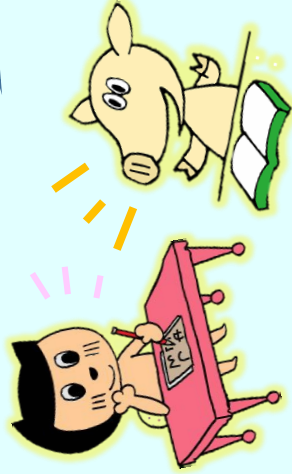
学生活動報告会ガクマチEXPOくらいでしかまだ関わりがないので、色んなイベントを行っている施設のイメージです。

人と人が繋がるきっかけになる場所そのものであり、明るくポジティブな印象が生涯学習センターだと感じました

「地域の活動拠点」です。地域で活動されている方の居場所で、そこから色々なところに広がっているのがすごいなあと感じています。
「まこちゃん教室」でもお世話になっていきます。活動中もピアノの音が聴こえてきたり、ダンスをやっている方がいたりするので、いろんな活動で利用されているのだろうなあと感じていきます。

町田市だけではなくですが、**公共施設全般で年代の偏りを感じます**。私は生涯学習センターや市民講座などが好きで利用もしていますが、同世代で利用している人はいないので、「珍しい」とか「変わっている」と周りから言われます。

人が集まる場というイメージ。フリースペースで遊ぶ小学生や勉強している高校生、僕らみたいにイベントをやる人、高齢者の方など、いろんな方が集まっている場だと感じる。



へりぽーとのご意見 1/3



生涯学習センター職員

Q. 生涯学習センターがどんな事業だったら参加したいと思えますか？
また、関わりたいと思えますか？

「僕が生涯学習センターを知ったきっかけは、大学3年生の時、同じ団体の学生に『学生活動報告会がクマチEXPOの学生会議に参加しないか』と誘われたことです。若者の参加を促すには、なにかきかけがなければいけないと思います。」

僕の地元（横浜市鶴見区）にある図書館と学習センターの複合施設では、一面にズラッと机と机といたがたたくさん並べてあるので、勉強している人や絵本を読む子ども、自由にカードゲームをして楽しんでいる子どもなど様々です。

町田市生涯学習センターは駅近のため、立地としては恵まれている。公共施設なので『お金がかからずに利用できるスペース』があるのは一つの魅力だと思います。」

「お金がかからない」というのは魅力なのですね。場所を借りるのではなく、ふらっと自由に来て、利用できる場というのが良いのでしょうか。」



「ハビュージャーではなくミドルジャーを増やすのであれば、きっかけを作るアイデアとして、気軽に来自由に使えスペースは有効だと思いました。」

「大学生を取り込みたいのであれば、その手前の年代層から認知度を高める必要があります。高校生であれば、勉強ができる場所を充実させるのは良いと思います。私の高校時代は、21時まで開いている図書館

をテスト前頻繁に使っていました。中にはフードコートを利用していた友人も。生涯学習センターは広くて静かな環境なので、需要があると思います。」

「フリースペースの充実です。法政大学はアクセスが悪く、必ずしもキャンパスの設備を必要としない文系の専攻であったため、ゼミのメンバー全員にとって好アクセスの集まれる場所があれば良いのと感じていました。生涯学習センターは駅近ですが、Wi-Fi環境や打合せスペースがないため候補には挙がりづらい。個人学習ができることも大切ですが、大学生なら数人で打合せできるスペースがあったらハビュージャーになると思えます。」

「生涯学習センター主催で、地域を知ることができ交流会のようなイベントを実施してほしいです。社会人になり知らない土地に移り住んできて、職場内の人間関係だけではおもしろくなく感じており、知り合いや友達を作るきっかけが欲しいと思っています。大学生でも社会人でも地域に移り住んだ人が「町田はこんな力アフェがあってオススメですよ」等を知ることが出来て、参加をきっかけに地域の人とつながれるようなイベントがあれば参加したいです。」

「若者向けの『お金の講座』。社会人としてお給料をいただいて生活していくため、キャリアを考えていく上での貯め方や使い方などを知ることができる講座があれば人が集まると思えます。」

「『若者が使える地域支援講座』も必要。行政の制度や支援、サービスなど意外と知られていないけど活用できるものがあるので、需要があると思います。」

「『若い人お帰りなさいパーティー』を実施すると良いのでは。八王子市では、定年退職したお父さんを対象とした地域デビュー講座『お父さんお帰りのなさいパーティー』という催しがあります。」

町田市には大学も多く地域活動している学生もたくさんいるが、一度就職すると忙しくてなかなか戻って来られない。同窓会的なノリで若い人が戻ってくる日を設けた上で、仕事をしながら自分のペースで続けられる活動や団体、催しの紹介をすることで地域活動や生涯学習センターへの来館に結びつくのでは、と思います。結局、どの世代もそうですが、若い人もつながりや仕事以外の居場所を求めていると思えます。」

「私にとっては知っている人が（コミュニティーに）いるかどうかが大事なので、『市民サークルの人や職員さんと知り合うきっかけづくり』が重要。イベントや講座の内容にかかわらず、知っている人がいるだけで参加のハードルがだいぶ下がると思えます。」

へりぽーとのご意見 2/3



「まこちゃん教室」では会場として生涯学習センターを利用していただいておりますが、利用してみたいかですか。

「調理実習室を利用していましたが、適度な広さなので班に分かれた学習もやりやすかったです。また、生涯学習センターは和室があることが大きいと思います。他の部屋とは別のイメージのイベントもできそうですし、大きなホールなどもあり各部屋の個性があるので、その分他の施設と差別化が可能ではないでしょうか。」

「量とふすまの醸し出す雰囲気や、平場なので皆で会場を作っていく良さもあると思います」



「地域との関係性」がこまでのキーワードですね。若い皆さんから見ると、地域のこういう人たちとつながりたいという要望はありますか？
また、どういう方向の交流系のイベントにすれば、若い方にとって魅力が増すのか？というのを教えてください。

「個人的な意見ですが、世代間の交流をやみくもに求めているのではなく、同じ価値観を持った人たちとつながりたいと思っています。」

私は地域活動が好きなので、イベントをとおして似たような考え方や行動ができる方に出会える、つながれると思っただけです。

「私は世代間の交流というよりは、同世代、地元の高校生とつながりたいです。私は高校から他市の学校に通っていたため、大学に入ったらもう一度地元でつながりや関係が作りたいたいと思ひ、地域活動を始めました。地元の高校生が集まれる場所という認識が伝われば、「ちょっと話したいな」と気軽に来館してもらえらるのでは。」

「『地域のつながりがって難しい』と感じています。大学入学と同時に上京し、団体活動やボランティアをとおして町田市とつながることはありますが、近所のつながりはほとんどありません。同じ若い世代が集まる場があれば、また違ったコミュニティができていく良いと思います。」

「私も同世代（10代、20代）か30代くらいまでの方とつながりたいと思います。へりぽーとの活動経験から言うと、地域で活動しているアクティブシニアの方たちとつながるのにはそれほど難しいことではありませんが、一方、若い人たちはどこかにいるはずですが、地域にはいないと感じます。他の地域でも同様の悩みを聞くので、若い人の傾向なのだと思います。しかし、地域のために活動したいと考えている若者もいるはずなので、だからこそつながりたい、会いたいと思います。その方法をこれから考えます！といった感じですよ。」

それは、良い種になりそうですね。例えば、ガクマチEXPO開催をきっかけに、地域に対する思いをもつて活動している若者グループから問い合わせを頂くことがあります。地域で活動している若者同士がつながるきっかけが何かあると良いのだからうと感じました。



相模原市や多摩市などでも若者会議やグループがあると聞いています。
他市や近隣地域の若者グループとつながってみたいという想いはありますか？

「活動自体は知ってみたいとは感じます。」



他市や近隣地域の若者グループというよりも、町田市内で活動している若者グループとつながってみたいということでしょうか。

「若者にこだわって若者コミュニティを作りたいわけではないので、周辺で同じような活動（地域活動）をしている人に出会いたいという思いです。でも、自分たちが町田で活動するための勉強になるので、活動の参考にするのであれば全国どこでも良いです。」

「他市のグループと集まるとなると、世代で集まるというよりも、距離がある分、なにかの目的がないと集まらないと思います。価値観が同じという共通点があれば、どんな世代でもぜひ出会いたいと思います。」

「生涯学習センターで若者が関わられる企画は、“アウトプットもの”がすごく多いので、他市の地域活動を知ることが、若者が学んだりする企画もあると思います。ガクマチEXPOに大学4年間関わってききましたが、他を見ても勉強するようない機会がないと、マンネリ化するし、これ以上の発展は難しいと感じる。」

「団体のチームビルディングを学ぶとか、面白いイベント作りのコツとか、学生団体が好きそうな為になる講座や勉強会があっても良いと思います。」

「学生団体が取れる助成金についてとか…。」

「大人のひとと話すコツ講座とか、行政の人とこうやって話すと良いとか…」

へりぽーとのご意見 3/3



生涯学習センターで学ぶことで、受講した学生さんが地域で展開することができるものが良いということですね。

「アウトプットできる学生はすごくエネルギーがある学生だと思いますが、そういう学生は少ないと思います。インプット講座があれば、へりぽーとが増えると思います。」



先日の学生生活動報告会ガクマチEXPOでは、学生同士の横のつながりやOB・OGや上下(高校生、大学生)のつながり、交流の要望もありましたね。その辺りの要望も聞かせてください。

「自分がやってきた学生の活動にOB・OGたちが入るといいうのは、卒業生も後輩も気を遣うと思うので、OB・OGとして後輩の活動を見守る立場で参加するのなら良いと思います。OB・OGは一定の能力を持った人たちだと思っているので、講座で教える側になるのも良いと思う。」



へりぽーとは今のメンバーが立ち上げたので、OB・OGの方がいない環境だったと思います。参考にしていただけた人やものはありますか。

「メンバーみんなが、以前から団体やボランティアセンター等に入って活動していたので、それぞれの持ち寄り企画を進めていきました。ほとんどが経験を活かせることや、学生同士の横のつながりを作って得意な学生団体にやってもらうなどだったと思います。私たちの場合は、『よしみち広場』に関わる地域の方に『やってみていいのですが、どうでしょうか?』と相談しながら進めています。コロナ禍で『よしみち郵便』を企画したときも、アイデアだけの私たちに、地域の方がたくさん知恵を貸してくれました。

先ほどの話で言うと、つながりは横も縦もどちらも欲しいと思います。ガクマチEXPOでは、卒業した先輩方を今でもすごく頼りにしています。それぞれが専門知識を持っていて、自分よりもいろんなことを知っていて、それらを色々教えてもらいながら一緒に活動してくれると本当に頼りになりますし、そんな関係が築けるのとても素晴らしいことだと思います。一方で後輩にも色々頼みますが、自分ができる分野の活動をバンバンやってくれる存在は刺激になります。

横のつながりで『これだけ活動している学生の団体がいるんだ』ということが分かるのはすごく励みになります。横も縦も、どちらの関係も大事だと思います。」

生活動報告会ガクマチEXPOには、社会人になった卒業生のほか、昨年度からは高校生団体も関わっているため、従来のイベントから少し広がってきていると感じています。先ほど「地域活動の若者ネットワーク」的なものがないというお話にもありましたが、ガクマチEXPOを拡充することでその役割を担うという道もあると思います。一方で、学生がメインで行い、新陳代謝を図っていく方向性ももちろんあります。

皆さんの感覚としては、「地域活動の若者ネットワーク」的なものは、ガクマチEXPOとは別にあったほうが活動しやすいのでしょうか?



「ガクマチEXPOの拡充が「地域活動の若者ネットワーク」的なものになるとは考えていませんでした。ガクマチEXPOでは地域とつながる三上の世代の人たちとつながる場所というイメージがあって、その方たちとつながるきっかけであるステップアップと考えていました。」

「ガクマチEXPOは昨年度で何回目でしたか。」



ガクマチEXPOは、3月で8回目となります。

「その積み重ねの賜物ですよね。続けてきたからこそ、OB・OGとの関わりなどが持てるのだと思います。もし、生涯学習センターで若者ネットワークをつくるのであれば、別組織をつくる必要はないと思います。ただし、ガクマチEXPOはイベントとして、今まで通り現役生メインにしたほうが良いと思います。自分が現役生なら、あまりにもOB・OGが多すぎるのはやりづらいです。『俺らのときはこうだったんだけどさ〜』とか…ちよつとつらいと思います。

現役生メインというのは守りつつ、ネットワークをつくるのであれば、そこに卒業生が関わっていくというのは良いと思います。」

若者グループ『MSP』も、高校生団体なのでサイクルが早く、半数以上が卒業生となっている状況です。団体を立ち上げた方たちはかなりエネルギーを持っており、そういった方たちが地域からフェードアウトしてしまうのがすごくもったいないと考えています。一方で、組織の新陳代謝も図っていく必要があります。とくに若い方を対象にする場合、行政では「子ども」「学生」というように年齢や所属母体で切ってしまうところがあるので、継続して関係性を持つていく必要があるという思いが個人的にはありました。

その「何か」が、どういう形であれば、団体の皆さんにとって参加しやすいのかご意見をたくさん頂けて、大変参考になりました。本日は、ありがとうございます!



学生生活動報告会「ガクマチEXPO」とは？

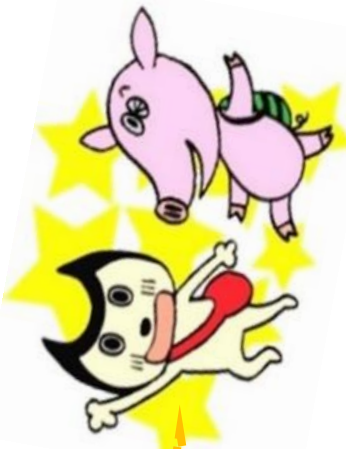


町田で活躍する学生が企画・運営する
地域連携・活性化イベントのことだよ！

市では、学習活動の支援として、町田市や近隣地域で活動する若者がより多くの方に学習成果を発表する機会の提供を行っています。

この一環として、大学と地域の連携・協働により様々な事業を展開する「公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム（通称：さがまちコンソーシアム）」と協働し、学生活動報告会『ガクマチEXPO』を開催しています。

『ガクマチEXPO』は、各地域で地域連携活動を行う学生団体が、学習や活動の成果を周知することで、地域活動の促進や新たな連携、さらなる地域活性化を目指します。また、学生が主体となってイベントを企画・運営することで、地域への情報発信や地域住民との関わり方を学びます。



とても学ぶことが
多い時間でした

オンラインイベント
視聴者からの声

時間が足りないと
感じるくらい
あっという間でした

町田市生涯学習センターのあり方見直し方針

2022年2月発行

発行 町田市教育委員会生涯学習部生涯学習センター
〒194-0013 町田市原町田 6-8-1
電話 042-728-0071
刊行物番号 21-76
印刷 庁内印刷